

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			余裕を持った活動を提供することが出来ている。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			基準よりも多く職員配置している。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		契約児童の活動は問題なく行えるが、主たる活動室が2階にあるため、階段を上らなければならない。1階玄関にはスロープを整備している。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			月1回行われる職員会議や毎日行っている姉妹事業所も交えた業務打合せで、活動内容や利用者の過ごし方についての振り返りを行っている。 出勤後にはミーティングの時間を確保し、一日の活動内容の確認や引継ぎを行っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを通してご意見を伺うとともに評価表をもとにニーズを把握し改善に努めている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ご家族アンケートの結果と共に法人HPにて公表している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			保護者等向けの評価表(保護者アンケート)を真摯に受け止め、業務改善を進めている。 第三者による外部評価は実施していないが、評議員会、理事会を機能させるとともに、リスクマネジメントについて法人全体の第三者委員会が行われている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事例検討会やその他必要な研修に参加している。研修で学んだ内容を月1回の職員会議で報告、共有している。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			前期・後期の年2回、個別支援計画の面談を再開している。活動やご自宅での様子をお話させていただいている。お伺いした内容や本人と保護者のニーズ等をその後の活動や計画に取り入れている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			利用契約時に法人オリジナルのアセスメントツールやサポートファイルを使用し、子どもの状況や取り巻く環境の理解に努めている。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			全体で活動内容を決めていく。その後担当リーダーを中心に準備、活動を進めていく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			職員だけでなく、ご家族や、利用者の希望を取り入れながら、調理活動や運動遊び等人気企画は継続して取り入れている。感染対策をしつつ外出活動も取り入れている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			プログラム内容、時間配分等、活動や行動に責任を持ち子ども達一人一人に寄り添っていく工夫点を事前に話し合い、共通理解を図っている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			グループでの活動の中、遊びでは一人ひとりの興味や関心を尊重しており、個別活動と集団活動を組み合わせた活動や遊びを提供している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日ミーティングを行っているがシフト制の為全員揃わない事も多い。ミーティング日誌を振り返り確認し全員で共通認識をしている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			保護者とのやりとりは必ず共有するよう心掛けている。また、活動内容の継続していきいたい事、反省点、にやりほっと等も共有している。姉妹事業所と毎日Zoom会議で情報共有を行う。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			確実に記入している。短い記録の中で誰が読んでもわかりやすく具体的な内容を描くことが課題となっている。

関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			基本的には、半期に一度モニタリングを行い、職員全体で放課後等デイサービス計画（支援計画）の見直しを行っている。利用者の状況によっては、都度モニタリングを実施している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			子どもたちの特性に配慮しながら、放課後等デイサービスガイドラインに沿って、活動提供している。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			主に児童発達支援管理責任者が積極的に参加しその子どもの状況を担当者間で共有している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			基本的な情報共有（体調や様子等）は、学校への迎えの際に適宜行っている。また、下校時間や、学校行事等は、家族の協力を得て、情報を確認させていただいている。利用者や家族の特段の希望があれば、それに応じた情報共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				医療的ケアを要する児童を対象としていないので、本問は該当しない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			直接就学前に利用していた幼稚園・保育園とは連絡は取っていないが、法人内の児童発達支援センターや相談員との連携を図っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				小学生を対象とした事業所のため、本問は該当しない。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			法人内の児童発達支援センターとは常に連携を図っている。また、研修にも積極的に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在は交流を持っていないが、いずれは地域と交流機会を作りたい。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			柏市のこども部会等に参加し、関係情報の入手や関係事業者との交流、情報共有を行っている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時にお話をさせていただいている。ま電話やLINEを活用しお話をさせていただいている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			困り感の相談を受けた際には個別には支援の方法などをお伝えしている。保護者会等を開催した際に関わり方など話していく。法人の講演会でペアレント・トレーニングの第一人者である講師を招聘し、ご家族に案内している。	
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			新規の方には重要事項説明書にそってお伝えしている。また、変更があれば、都度伝えるようにしている。
		31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者に直接お会いした時だけでなくお電話やメール等でご相談があった時にも丁寧にお答えしている。
		32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			10月にコロナ禍以降久しぶりの保護者会を行う。今後も事例検討会等の開催で保護者同士の関われる場の提供をしていく。
		33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情窓口担当者を設置しているが、管理者はじめどの職員にも常に話して頂けるよう伝えている。ヒヤリハット報告書や事故報告書、または直接メールや口頭で理事長に報告し相談をしている。
		34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、案内やニュースでお伝えしている。また法人内の広報誌を年2回発行している。
		35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報外部に漏れないよう、十分に注意している。情報の共有が必要な際には、適宜、保護者の同意を得るようにしている。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々に合わせた対応を常に心がけ、配慮している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			フェスタなどの催しを法人内で開催している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			法人として安全管理マニュアルを策定している。職員には都度確認をし、保護者には契約時や保護者会等の機会を通して説明している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			大型地震等の自然災害発生時における業務継続計画（BCP）に基づき、法人全体の防災訓練と事業所単位で定期的に訓練し、災害等にそなえている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人として、WITH US 施設長を虐待解決責任者、各事業所の管理者等を虐待防止受付担当者とする虐待防止委員会及び身体拘束適正化委員会を、管理者等の会議である戦略会議において開催している。事業所では、虐待防止受付担当者をもとに、法人の虐待防止委員会及び身体拘束適正化委員会の議事の伝達、並びに各種研修参加者による伝達研修を実施するなど、虐待に対する意識を向けられるようにしている。また日々職員同士で振り返りをして話が出来る環境作りを心掛けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束に至ることはこれまでにないが、児の生命にかかわる事が予想される児を受け入れる場合は、支援計画に記載し保護者の同意を得ることとしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食物アレルギーのある子どもについては、二重チェックをする等、厳重に注意を払って対応している。医師の指導について母から対応を伺っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット・事故があった際には、法人全体、職員全員で確認し、対策を含めて情報共有をしている。